

BankART **1929** Under35 Series, Chie KODA Exhibition

幸田千依 〈Focusing on everything / 絵のまえで会いましょう〉

2013.3.22, Fri - 4.14, Sun, BankART Studio NYK 2A Gallery



新作《真昼の不知火》キャンバスにアクリル・油彩, 116.7×91cm

## 幸田千依 〈Focusing on everything / 絵のまえて会いましょう〉

[会期] 2013年3月22日(金)～4月14日(日) 11:30～19:00

※オープニングパーティー：3月22日(金) 19:00～

[会場] BankART Studio NYK 2A Gallery 入場無料

[主催] BankART1929

[プロデュース] 橋本誠 (Nomad Production)

これまで様々な都市に滞在しながら描いてきた絵画の大作のうち、現在の幸田の活動を象徴する4点(柏・別府・寿町・台北)、新作10数点をBankART Studio NYKの大空間に展示する初めての大規模個展を行います。また、会期中に行う公開制作やトーク、随時更新するウェブサイトなどを通して、彼女の制作スタイルや思考にふれていただく場を設けます。

【公開制作】会期中連日、幸田が会場で新作の公開制作を行います。お越しいただいた方々との出会いなど、日々の出来事を表現に込めていく様をご覧ください。「絵のまえて会いましょう！」

【トーク】幸田とゲストによる対談企画を通して、彼女の思考や表現の魅力に迫ります

3月27日(水) 19:00～20:30 ゲスト：矢内原美邦(演出家)

3月30日(土) 15:00～16:30 ゲスト：村田真(美術ジャーナリスト)

※参加方法：本展カタログをご購入(持参)いただいた方を対象に実施いたします。直接会場までお越しください。

【ウェブサイト】日々の制作や最新情報について、ゲストとの対話をまとめた記事をご覧くださいませ

ゲスト：芹沢高志(P3 art and environment)、立石沙織(日和アートセンター)、水川千春(アーティスト)ほか

→ <http://under35.nomadpro.jp>



[同時開催] Under35 作家+マネージャー

木村宗平+藤川悠

古久保憲満+松本寛庸+小林瑞恵(社会福祉法人愛成会)

柵瀬茉莉子+森田彩子

高山陽介+橋本かがり

丸山純子+大友恵理

※Under35は、35歳以下のアーティストによる個展のシリーズ。3回目にあたる今回は、作家+ギャラリー(マネージャー)のジョイントチームを対象にした公募から選出された「同時開催展」です。

BankART Studio NYK

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通3-9

TEL:045-663-2812 FAX:045-663-2813

<http://www.bankart1929.com>

アクセス：横浜みなとみらい線「馬車道駅」6

出口「赤れんが倉庫口」徒歩5分/JR「桜木町

」「関内」駅より徒歩10分



みる意志/描くこと(つくること)

絵を描くというひとりきりの責任をひきうけて  
ひとつひとつの(一筆一筆の)モチーフの重みと  
キャンパス全体の関係性

その両方を常に同時に

意志をもって見ることから始めたい

それは 一枚の作品の重みと

壁面全体にある絵との関係性に移行して

すべての作品を よく見極めること

よく描くことにつながっていく

知る意志/見せること(交わること)

個人という最小の単位で生きていくことをひきうけて

そこで出会うひとりひとりの人の生きているさまの重みと  
自分との関係性

その両方を常に同時に

意志をもって知ることからはじめたい

それは 一人のひとの生きている重みと

全体との関係性に移行して

すべての人の生き方を よく見極めること

よく知っていくことにつながっていく

意志をもって すべてのひとに 出会うこと

そこから調和を 見いだしたい

まずは 目の前のひとを肯定していく中で

意志をもって すべてのものに 注目していく

そこからハーモニーを 見いだしたい

まずは 目の前のものを肯定していく中で

ひとつひとつ

関係性のあいだを何度も往復しながら大きく振動して

すべてのものに フォーカスするという

うそみたいなことを やってみたい

幸田千依

【プロフィール】

1983年東京生まれ。2007年多摩美術大学卒業。

様々な場所に住みながらつくる、レジデンスや滞在制作を中心とした活動を行っています。完成した絵画を展示するだけでなく、公開制作を自覚的に行い、自身が絵画をつくる過程を見せること、人と作品との出会い方について考え、描くことと見せることの両方について模索。「歩く絵のパレード」など、絵画を室内以外で見せる試みなども展開しています。〈くくくく JOBAN-KASHIWA プロジェクト〉 柏市[千葉]、2009年、〈KASHIMA2010〉別府市[大分]、2011年、〈寿から絵を放つ〉寿町[神奈川]、〈台北国際芸術村〉台北[中国]、2012年ほか